

# 小山町 観光振興 計画

概要版



平成 25 年 6 月 26 日、「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」が正式に世界文化遺産に登録されました。これにより、富士山の注目度はこれまで以上に高まっており、富士山周辺の地域では、国内外から観光客が増加しています。本町においても須走口登山道と富士浅間神社の2つが構成資産として登録されました。これを町全体の観光振興につなげていくことが重要です。

また、本町は富士山だけでなく「金太郎生誕の地」として金太郎にゆかりのある場所が多くあり、その他にも、豊門会館や足柄城址といった文化財や史跡が多くあります。また、富士スピードウェイなどの大型施設、地場製品の販売や富士山景観により人気のある道の駅（ふじおやま、すばしり）、温泉、ゴルフ場など、本町は観光資源に恵まれている町です。

さらに、2020 年（平成 32 年）には、新東名高速道路の開通や小山パーキングエリアとスマート・インターチェンジの開設、足柄サービスエリアのスマート・インターチェンジ設置など、高速交通基盤の整備も進んでおり、首都圏からのアクセスが向上します。また東京では、夏季オリンピック・パラリンピックが開催され、世界中から多くの方が日本を訪れます。

これらをチャンスととらえ、本計画では2020年度（平成 32 年度）に本町への観光交流客数を 500 万人にすることを目標とします。

〓 小山町へおいで！ 世界から！  
観光交流 500 万人プログラム

430 万人（平成 25 年度）  
▼▼▼  
500 万人（平成 32 年度）

2015  
↓  
2020

約430万人(平成25年度) ⇒ 500万人(平成32年度)

## 体系図



### 基本方針1

## 富士山交流観光 プログラム

- 施策1 須走口五合目を再整備します
- 施策2 登山者などへの対応を充実します
- 施策3 須走口五合目散策コース・富士箱根トレイルを活用します
- 施策4 富士山の眺望スポットを整備します
- 施策5 富士浅間神社の魅力を高めます
- 施策6 富士山の環境保全を観光振興につなげます
- 施策7 美化活動を進めます



### 基本方針2

## 元気にぎわい 観光プログラム

- 施策1 金太郎をシンボルとした観光活性を図ります
- 施策2 スポーツによる誘客を進めます
- 施策3 農のある暮らしをにぎわいに活かします
- 施策4 自転車による観光振興を進めます
- 施策5 自衛隊との連携による観光振興を進めます
- 施策6 観光拠点を活用します
- 施策7 新たな観光スポットを整備します
- 施策8 ハイキングコースを活用します
- 施策9 ロケ地としての強みを活かし知名度を高めます



### 基本方針3

## 観光インフラ 整備プログラム

- 施策1 シティプロモーションの充実を図ります
- 施策2 おもてなし人材による着地型観光を充実します
- 施策3 インバウンドへの対応を強化します
- 施策4 観光情報の基盤を整えます
- 施策5 観光交通基盤を整備・活用します
- 施策6 広域連携を推進します
- 施策7 小山町ブランドの充実を図ります

# “小山町へおいで！世界から”観光交流500万人プログラム

- (仮称)富士山須走口ビジターセンターの設置
- 駐車場の整備
- 整備計画の推進
- ふじあざみラインの道路改良の推進

- 登山案内及び指導の強化
- 登山装備サービスの提供
- 世界遺産案内板の設置
- 須走ルートの魅力の紹介
- 須走流登山スタイルの確立

- 案内板の設置
- 散策ツアーの開催
- 富士箱根トレイルの管理
- コースの魅力の情報発信
- ガイド付き散策ツアーの開催
- 来訪時期や所要時間によるコース設定

- 富士山眺望スポットの充実
- 案内看板の整備・案内マップの作成

- 須走地区を富士山観光の拠点としたまちづくり
- 住民参加による観光地づくり
- 富士浅間神社へのツアー誘客の強化
- ボランティアガイドによる案内
- 富士浅間神社のPR

- 景観条例の制定
- 富士山と調和する景観づくり
- 富士山における環境学習の場の提供
- マイカー規制の実施
- 富士山環境ツアーの開催

- 富士山清掃の実施
- 登山者マナーの向上

- 金太郎シンボルデザインを活用したPR
- 金太郎商品のブランド化
- 金時公園の活用
- 金太郎を活用した広域連携の推進
- 相撲大会の開催
- 金太郎伝説ゆかりの地のPR・紹介

- スポーツ大会などの誘致・拡充
- 合宿などの誘致
- 富士スピードウェイとの連携

- 農産物直売所の整備
- 農家民泊の試み
- 農業体験の推進
- 林業体験の推進

- 自転車大会の拡充
- 新たな自転車大会の開催
- 「サイクリストにやさしいまちづくり」の推進

- 自衛隊イベントを通じた町のPR
- 町内イベント等への参加依頼

- 道の駅の活用
- あしがら温泉等の活用
- 豊門公園等の活用

- ホタルの里づくり
- 北郷の森の整備
- リゾート宿泊機能の誘致
- 産業観光の提供

- 足柄古道などの活用
- 市町村連携によるハイキングコースの活用
- (仮称)おやま物語100選の作成・散策

- ロケ地の発掘・整備と活用
- 映画祭の開催
- ロケの誘致
- 民間組織の設立支援

- 旅行会社への観光資源の紹介
- 首都圏などで開催される展示会への参加

- 観光ガイドの育成
- 次世代を担う人材の育成
- 小山町観光検定の実施
- 小山町観光親善大使の認定

- プログラムの開発
- 外国人観光客へのおもてなしの充実
- 外国語表記の充実
- 東京オリンピック・パラリンピックに向けた環境整備

- 総合的な観光情報の集約・管理
- Wi-Fiスポットの整備
- ネット予約・決済環境の整備促進

- 季節運行バスの利便性向上
- 小山パーキングエリア / 足柄サービスエリア周辺の整備
- ユニバーサルデザイン化の推進

- 広域ネットワークによる取り組みの推進
- 金太郎にちなんだ交流の活性化

- “小山町”をエリアとしてアピール・ブランド化
- 道の駅・足柄サービスエリア・小山パーキングエリアにおける販売促進・PR
- 特徴ある商品を育成
- インターネットを活用した販売促進
- ロケ地を活用した特産品の販売促進

# 推進体制

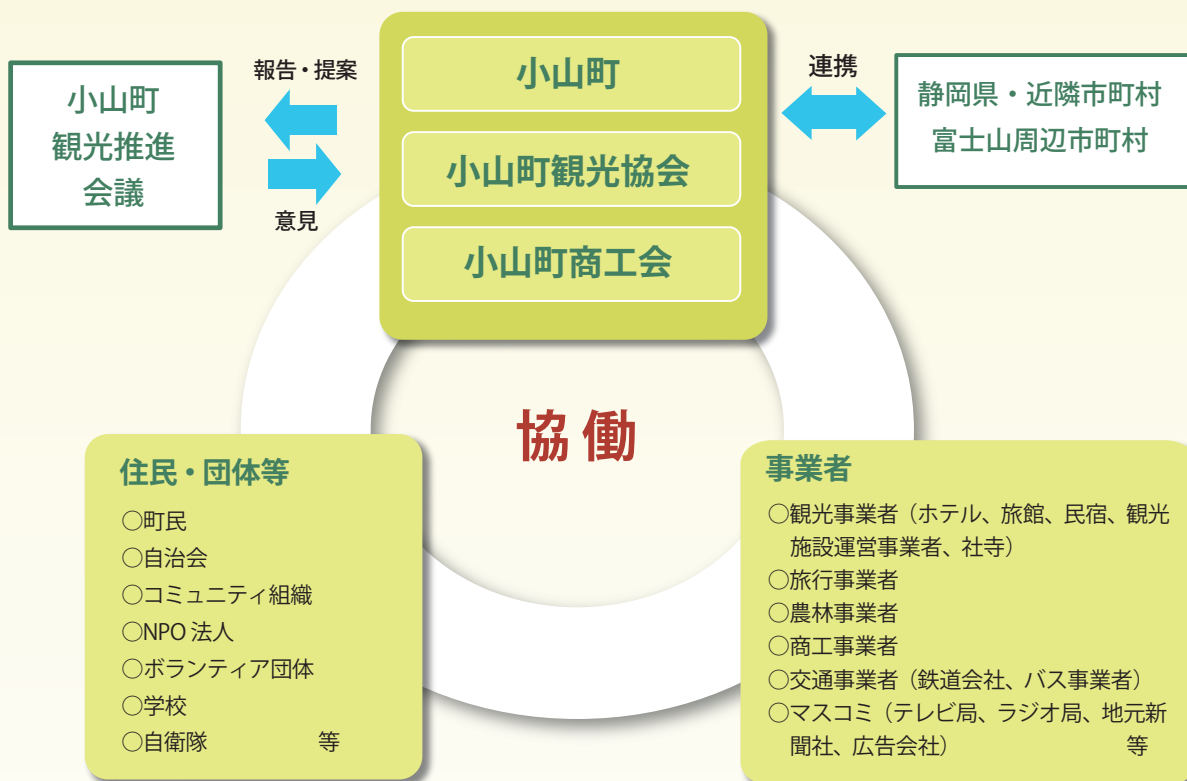
- 小山町、小山町観光協会、商工会が中心となって、事業者（観光事業者、旅行事業者、農林事業者、商工事業者、交通事業者、マスコミ など）、住民・団体等（町民、自治会、コミュニティ組織、NPO法人、ボランティア団体、学校、自衛隊 など）の協力を得て、関係主体の協働体制により、取組みを進めます。

## 《具体的な協働の場面》

- 観光に携わる関係者同士の情報交換や共有に留意し、協働の基礎を拡充します。
- 地域活動団体と観光関連事業者の協働による新たな旅行商品の開発や販路の拡大
- 農林事業者と民宿、マスコミの協働による新たな民泊商品のモデル的な取組み
- 観光協会とボランティア団体の協働による町内観光資源のメンテナンスイベントに向けた取組み

- 静岡県、富士山周辺市町村、近隣市町村（御殿場市、南足柄市、山北町、山中湖村、箱根町など）との連携による取組みを進めます。

## 推進体制イメージ



発行日：平成 27 年 3 月

発行：小山町経済建設部商工観光課

：静岡県駿東郡小山町藤曲 57-2

TEL:0550-76-6114 / FAX:0550-76-2795

E-mail：kankou@fuji-oyama.jp